

1. ユダヤの国からはるか東の方に住んでいた3人の博士たちは、輝く星に導かれ、救い主イエス様のお誕生をお祝いする旅を続けました。
2. そしてその輝く星は、ユダヤのベツレヘムという小さな町に住んでいたイエス様の家の上でとまりました。
3. こうして博士たちは、幼いイエス様を礼拝することが出来たのです。
4. 「見よ、東方で見た星が彼らを先導し、ついに幼子のおられる所まで進んで行き、その上にとどまった。」

マタイ2:9

輝く星が博士たちをイエス様のもとに連れて行ったのだと、聖書にそう書いてありますね。

5. それにしても、遠く空のかなたに輝く星が、どうやって博士たちを連れて行ったんだろうね？
6. クレーンで誰かが星をあやつっていたのかな？・・・って、違うよねえ。
7. じゃあ、蛍(ほたる)が星のように見えたのかな？・・・って、そんな分けないじゃん。ねえ。

あ、わかった！

8. みなこさんがイタズラしたのかな？・・・って、絶対それだけはありませんよね。
じゃあ、どうやって星の輝きを見て、イエス様の家を知ることが出来たんだろう？
9. それはね、博士たちには、神様を信じる思い、つまり信仰があったからなんだね。
神様を信じない人には、きっとその星は、ただの星に見えたんじゃないかな。でも、神様を信じていた博士たちには、それが特別な星だっていうことがわかったんだね。
そして博士たちは、その星を見ながら旅をして、やがてイエス様の家を探し当てることができたんだ。
神様を信じるっていうこと、信仰を持つっていうことは、すごいことなんだね。

私たちも、博士たちのように、神様を信じて、信仰を持っていきたいですね。 おしまい。